

京都の伝統産業 Traditional Industries of Kyoto

三味線



木材は、インド産の紅木などを使っている。三味線は、使う人の手の大きさ、技量に合わせてつくる。製造してから年が経てば経つほど良い音になる。木材切断、研磨、艶出し、漆入れ、皮張り、糸掛けなどの工程のうち、特に皮張りは三味線の命であり、最も神経を使うところであり、ギリギリまで張りつめる。

制作：京都市

京都の伝統産業 Traditional Industries of Kyoto

三味線



木材は、インド産の紅木などを使っている。三味線は、使う人の手の大きさ、技量に合わせてつくる。製造してから年が経てば経つほど良い音になる。木材切断、研磨、艶出し、漆入れ、皮張り、糸掛けなどの工程のうち、特に皮張りは三味線の命であり、最も神経を使うところであり、ギリギリまで張りつめる。

制作：京都市